

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

R I 第 2820 地区

水海道ロータリークラブ

2009-2010年度 テーマ

増やそう 新しい仲間たち！
開こう 未来への扉を！



2009-2010 年度 R I 会長
ジョン・ケニー

次回例会予定 10月21日 会員卓話 上野 博会員
10月28日 外部卓話常総公共職業安定所

VOL. 47 No. 13 (通算No. 2215)

2009年10月14日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話

米山月間に因んで

青木正弘会員



大生郷天満宮

写真提供:常総市役所

2009 - 2010年度

会長 田 上 秀 雄

幹事 武 藤 康 之

創立 1963年9月25日

例 会 場 ・ 例 会 日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30

0297-22-1251

事 務 所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.47 No.12 (No.2214) 10月7日(水)雨 (司会 斎藤広巳委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶

会員卓話 職業奉仕月間に因んで 松村仁寿会員

入会式 山牟田 博会員、五木田益城会員

ピジター

新会員 山牟田 博会員、五木田益城会員

入会式



山牟田 博会員

伝統ある水海道ロータリークラブに入会させて頂きまして、本当にありがとうございます。

入会を機会に、諸先輩方の築かれてきたものを一から勉強して、何かのお役に立ちたいと思っております。

今後とも、御指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



五木田益城会員

祖父も父もお世話になったこのロータリークラブで二人より色々学んできた事を小さい時に教えてもらった事を覚えています。私も皆様に色々なことを教えていただきたく入会させて頂きました。何分にも若輩者でご迷惑をお掛けすると思いますが、末長く宜しくお願ひ致します。

誕生祝



会員 松崎隆詞会員、武藤康之会員

配偶者 鈴木(邦)会員 二本松会員
門協会員

諸報告

雑誌委員会 (鈴木 豊委員長)

ロータリーの友10月号のお知らせ

P6～ 職業奉仕月間について P17～米山月間について

平成22年6月23日からのモンリオール国際大会について

ご一読頂ければと思います。

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

表彰 マルチプル・ポールハリス・フェロー



海老原良夫会員



松崎隆詞会員



石塚克己会員

幹事報告 武藤康之幹事
週報受理クラブ 藤代RC
例会変更通知 なし

会長挨拶 田上秀雄会長



皆さん、こんにちは。本日より水海道ロータリークラブ会員となりました

五木田^{ますき}益城会員、山牟田 博会員をご紹介します。

五木田会員の職業分類は薬剤師、委員会は国際奉仕所属とさせていただきます。山牟田会員の職業分類は食品販売、委員会は親睦活動所属とさせていただきます。クラブ会員一同歓迎申し上げます。

先日、10月3日に行われた竜ヶ崎ロータリークラブ創立50周年記念式典にあたっては水海道ロータリークラブより7名の会員が参加しました。印象としては無駄のないとてもシンプルな式典でした。水海道ロータリークラブでも2年後に50周年記念式典を控えています。現在、50周年記念式典企画委員長である島田会員をはじめ7名の会員の方々からご意見を出していただきよりよい式典になりますよう準備を進めております。

さて、2016年といえば夏季オリンピックの開催地が決まりました。日本、アメリカは残念ながら敗れ、ブラジルのリオデジャネイロに決まりました。

もし日本での東京オリンピックが実現すれば、日本の夏季オリンピックでは1964年以来52年ぶり、日本では長野県で1998年に冬季オリンピックが開催されて以来18年ぶりに開催の予定でした。今回の招致運動には石原新太郎東京都知事が中心となり進められてきました。

オリンピック開催による経済効果は2兆9,400億円(都内1兆5,500億円、都外1兆3,900億円)と見込まれ、とても大きな経済効果を日本全国にもたらす予定でした。しかし今回は日本での開催は夢で終わってしまいました。

2020年のオリンピックに再度、立候補する可能性もあるそうです。

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

私達ロータリアンは目先の経済効果を期待するよりも、今できる奉仕活動を通して社会のためになるよう努力して参りたいと思います。

会員卓話 職業奉仕月間に因んで 松村仁寿会員



ロータリーにとって「奉仕」という言葉は夫唱婦随のような存在と思われれます。しかし最も身近なこの言葉が、最も深い意味を持っていることも事実です。簡単に使われる言葉。しかし見極める事の難しい言葉。そう言えると思います。ロータリーは「奉仕」を英語で「SERVICE」=サービスと表現していますが、私たち日本人が「サービス」という言葉を使うとき、どちらかというところの好意で、相手が得をする」というような意味合いがあると思います。「サービスさせていただきます」「これはサービスですから」「謝恩サービスだから、景品をつけておきました」などの言葉には慇懃な響きはあるものの「どうだ、トクしたでしょう」みたいなニュアンスが感じられます。それはそれで社会一般の流れだから良いのですが、ロータリーの「奉仕」つまり「サービス」という言葉はそんなものではないのです。

「サービス」=SERVICE は「サーブ」=SERVE の名詞形で、本来の意味は、神に、主君に、国家に、思想などに「仕える」という使われ方をします。例えば医療機関なら「地域を受け持つ」「必要を満たす」という使われ方をします。従って「サービス」の本来的な精神は「自分の役割は、地域、国家、人々のために、その要望に応えるよう、真摯な心で最大限努力する。お仕えする」というものです。

四大奉仕部門のひとつ「職業奉仕」は、英語で「VOCATIONAL SERVICE」と訳されますが、VOCATIONAL=VOCATION の形容詞形という言葉は、「神から与えられた天職」というのが本来の意味です。従って職業奉仕とは、「与えられた天職をもって、社会、人々の幸せのため、誠心誠意お仕えする」という意味なのです。

こう分析すると、ロータリーで使われる言葉が、我々日本人の認識と大きく離れている事がわかると思います。こう考えると、「サービス」という言葉の意味の深さ、重い響きがあることが解りますが、同時に、私たちは日常「サービス」を本来の意味として捕らえず使っていることが解ります。

四つのテスト

先ず最初に考えなければならないことは、この四つのテストは、決して事業の倫理基準や商徳を高める事を目的に作られたものではなく、倒産の危機に瀕していた調理器具メーカーを債権させるために作られたきわめて現実的な基準だということです。すなわち四つのテストというのは、商取引をする当事者同士が、納得できずで取引できる基準を示したもので、社会で一般的に適用するとは限りません。

よく、癌の告知や死期の告知に四つのテストを適用すべきか否かとか、醜い女性に正直に醜いと告げるべきか否かと言った議論をする人がいますが、四つのテストはあくまでも商取引にのみ適応するように作られた基準であることを忘れてはなりません。商取引はシビアなものですから、それを厳密に判定する基準が必要ですが、一般の生活に夢や希望を与えるためにつくさやかな嘘は、人生の潤滑油として必要不可欠なものと思います。

Four-way test(四つのテスト)・・・「事業を繁栄に導くための四通りの基準」ならば、当然 Four-way tests と複数形になるはずですが。これが単数形であるのは、事業を繁栄に導くためには四通りの基準を一つずつクリアすればいいのではなく、四つ纏めたものを一つの基準として、その全てをクリアしなければならぬことを意味します。ロータリーの綱領が Object of Rotary と単数形であり、四つの項目が渾然一体となって、一つの綱領を形作っているのと同様です。

Is it the truth? (真実かどうか)・・・「嘘偽りがないかどうか」という意味です。商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうかは非常に大切な基準です。真実というのは「80%の真実」という言葉が示すように、人間の心を通じたアナログ的な判定であるのに対して、事実とはその事

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

実があったのか、無かったのかの二者択一を迫るデジタル的判断ですから、ここでは「事実」という言葉を用いるべきでしょう。

Is it fair to all concerned? (みんなに公平か)・・・fairとall concernedという言葉の翻訳に問題があります。Fairは公平ではなく公正と訳すべきでしょう。公平とは平等分配を意味するので、例え贈収賄で得たunfair不正なお金でも平等に分ければそれでよいことになります。All concernedはallだけが訳されており、肝心のconcernedが省略されています。冒頭で述べたように四つのテストは「商取引」の基準として定めた文章ですから、このconcerned(関わりのある人、関係する人)は「取引先」のことを意味する事は明白です。従ってこのフレーズは「すべての取引先に対して公正かどうか」ということを意味します。

Will it build goodwill and better friendship? (好意と友情を深めるか)・・・goodwillは単なる好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判を表すと共に、店ののれんや取引先を表します。すなわち、その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて取引先を増やすかどうかを問うものです。

Will it be beneficial to all concerned? (みんなのためになるかどうか)・・・Benefitは「儲け」そのものを表す言葉です。商取引において適正な利潤を追求することは当然なことであり、決して恥ずべきことではありません。但し、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が訂正な利潤を得るかどうか問題なのです。

出席報告 (福田克比古委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
53名	44名	9名	0名	9名	100.00%

ニコニコボックス 瀬戸隆海委員長

入金計 ¥72,000 累計 ¥771,000

伝統ある水海道ロータリーに入会させて頂きまして誠にありがとうございます。今後とも宜しく願い申し上げます。 山牟田会員

皆さん、宜しくお願いします。 五木田(益)会員

誕生祝御礼 会員 武藤・松崎 各会員 配偶者 鈴木(邦)・二本松 各会員

山牟田さん、五木田さん、入会おめでとうございました。 田上・武藤・五木田(裕) 各会員

新入会員、山牟田氏を宜しくお願い致します。 山野井会員

五木田君、入会おめでとうございました。皆様どうぞ宜しくお願いします。 倉持会員

茨城県市町村対抗ゴルフ大会決勝が10月1日にとりで国際Gであり、常総市7位でした。 斎藤会員

明日の台風が心配です。 上野会員

会計3ヶ月過ぎました。今後ともご協力願います。 大塚会員

無事、中間決算を終了できました。今後とも宜しくお願い致します。 門協会員

荒れ模様の日が続きます。 横山会員

今月は米山月間です。宜しくお願いします。 青木(正)会員

週末2泊3日で、ライラセミナーへ行ってきます。 染谷(秀)会員

早退します。 熊谷会員

例会欠席が続きました。 古矢・秋田 各会員

先週欠席しました。 海老原・鈴木(勝) 各会員

例会欠席しました。 染谷(昭)会員

会報委員会

染谷正美委員長

秋田政夫副委員長

上野 博委員

10月は職業奉仕月間・米山月間です

THE WEEKLY REPORT

職業奉仕を行動の真正面に

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

今日、世界には数多くの奉仕団体が存在します。しかし、ロータリーほど歴史が古く、成功しているものはほとんどありません。ロータリーがこれだけ長く続き、成功しているのには、たくさん理由がありますが、その一つが職業奉仕です。私は皆さんに、四大奉仕部門の中でもとかく忘れられがちな職業奉仕を、今年度の特別な強調事項に置いていただきたいと願っています。

職業奉仕はロータリーを特徴づける

ビジネスや私生活における高い倫理面の基準は、ロータリーが誕生した1905年当時と同様、今でも大切なものです。事実、私たちの世界が現在直面している問題の多くは、ビジネス面でのこういった基準が守られているかどうかの確認を怠ったことによって引き起こされました。

ロータリーにおける職業奉仕とは、私たちが正直なビジネスと、疑い得ない倫理に献身的であり、それと同時に、自らの職業的な技能と人々を助けるといった強みを使うことに献身的であることを意味します。このアイデアはとても単純です。しかし、ロータリーを特徴づける独自のものなのです。

一人ひとりがロータリーの顔

多くの奉仕団体は、参加したい人には誰にでも門戸を開いています。ロータリーはそうではありません。ロータリアンたちは、人柄、能力、それに、クラブに真に貢献する決意といった資質をもった人々だけを探し求めているのです。

私は長い間、ロータリーの基盤とは、倫理を伴った行動に身をささげることだと信じてきました。都合がいいことより、正しいことを優先する、そして「超我の奉仕」こそが、ロータリーをほかの団体とは異なる存在にしているのです。そのようなわけで、何をするときにも、私たちの一人ひとりが世間に対するロータリーの顔であるということを、常に心にとどめておかなければなりません。私たちの一人ひとりが私たちの組織の旗手なのです。一人の会員の行動は、良かれ悪しかれ、私たち全員にはねかえってきます。

超我の奉仕に軸足を置く

私たちが組織として成し遂げてきた多くのことが、ロータリーやロータリアンに対する、世間の信頼につながります。それぞれの地域社会に私たちの存在を知ってもらい、同時に、私たちが善意と好意の人々であることが知られるようになったポリオ撲滅活動の成功によって、その信頼は大きいものとなりました。

もし、私たちの組織が成長し繁栄する姿を見たいと思うなら、私たちは、自分たちの考え方や行動の真正面、あるいは中心に職業奉仕の思想をもっていなければなりません。私たちは技能をもち、決意が強い、品性を備えた男女を探し求めなければなりません。

私たちは、たとえ不都合なことであったとしても、正しいことをしなくてははいけません。そして、私たちはいつでも「超我の奉仕」に軸足を置いていなければならないのです。

JOHN KENNY

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL